

## 令和元年度第2回江東区環境審議会会議録

1 日 時 令和元年9月9日(月) 午前10時00分 開会  
午前10時45分 閉会

2 場 所 江東区役所7階 第71・72会議室

3 出席者 < >は欠席

- (1) 会 長 柳 憲一郎(明治大学法学部専任教授)  
副会長 <長谷川 猛(元東京都環境局理事)>  
委 員 芦 谷 典 子(東洋大学教授)  
<奥 真 美(首都大学東京教授)>  
<村 上 公 哉(芝浦工業大学教授)>  
市 川 英 治(東京商工会議所江東支部副会長)  
中 塚 千 恵(東京ガス株式会社東部支店支店長)  
<安 田 奈穂美(東京電力パワーグリッド株式会社江東支社渉外担当次長)>  
石 原 和 哉(区民委員・江東区立小学校PTA連合会)  
増 子 良 男(区民委員・江東区立中学校PTA連合会)  
岡 本 一 恵(区民公募委員)  
田 中 真 司(区民公募委員)  
星 野 博(区議会・区民環境委員会委員長)  
矢 次 浩 二(区議会・区民環境委員会副委員長)
- (2) 幹 事 林 英 彦(環境清掃部長)  
吉 野 正 則(環境清掃部温暖化対策課長事務取扱参事)  
<西 野 裕 音(環境清掃部環境保全課長)>  
河 野 佳 幸(環境清掃部清掃リサイクル課長)  
青 山 陽 一(環境清掃部清掃事務所長)

4 議 題

- 審議1 江東区環境基本計画(後期)改定について  
報告1 江東区環境基本計画の平成30年度進捗状況について  
報告2 第12回江東区環境フェアの実施結果について  
報告3 東京2020大会のメダル製作に向けた小型家電の回収結果について

事前配付資料

- 資料 1 - 1 江東区環境基本計画（後期）素案について
- 資料 1 - 2 江東区環境基本計画（後期）素案
- 資料 2 江東区環境基本計画の平成 3 0 年度進捗状況について
- 資料 3 第 1 2 回江東区環境フェアの実施結果について
- 資料 4 東京 2 0 2 0 大会のメダル製作に向けた小型家電の回収結果について

机上配付資料

- 江東区環境審議会委員名簿
- 令和元年第 1 回江東区環境審議会会議録
- 江東区の環境白書

---

## ◎開会

**温暖化対策課長** おはようございます。定刻を遅れて、申しわけありません。

本日、柳会長は昨晚からの台風15号の影響による電車の遅延により現在遅参しており、後ほど到着されると思いますが、それまでの間、芦谷委員に会長代理をお願いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

ただいまより、令和元年度第2回環境審議会を開催いたします。本日もご審議の程、よろしく願いいたします。

まず初めに、委員の出席状況について報告いたします。本日、奥委員、長谷川委員、村上委員、安田委員から欠席の連絡をいただいております。出席が、柳会長が見えて10名ということになりますので、定足数を満たしておりますことをご報告いたします。

なお、本日、傍聴の希望者はございませんでした。

また、本日の資料につきましては、次第のとおりとなっておりますので、不足がありましたら、事務局まで教えていただければと思います。

以上でございます。

それでは、議事に入らせていただきます。

芦谷委員、よろしく願いいたします。

**芦谷委員** はい。議事に先立ちまして、前回の令和元年度第1回環境審議会の会議録の承認について確認させていただきます。

前回の会議録については、ご発言をいただきました委員の皆様に発言箇所についてご確認いただいたものを、会長のもと承認されております。

この場で、この会議録につきまして、正式にご承認をいただき、一般公開と区のホームページへの掲載を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(一同了承)

**芦谷委員** では、前回の会議録はご承認いただいたということにさせていただきます。それでは、議事に入りたいと思います。

---

## ◎審議1 江東区環境基本計画（後期）改定について

**芦谷委員** 審議の1、江東区環境基本計画（後期）改定について、担当課から説明をお願いいたします。

**温暖化対策課長** それでは、説明させていただきます。

資料の1-1をご覧くださいませでしょうか。

1の概要ですが、この計画は、江東区長期計画の推進における環境分野での基本計画という位置づけでございまして、区の施策を環境という視点から整理・体系化いたしまして、環境の保全に関する基本的な方向を示すものとなっております。

現在の計画は、平成27年3月に策定されており、本年度は策定後5年が経過するため、前期計画の進捗状況を分析し、さらに評価を行いまして、現在の社会状況を踏まえた後期

5年間の計画を新たに策定するといったものでございます。

2の計画改定の検討組織でございますが、(1)の江東区環境基本計画改訂委員会及び幹事会は、庁内検討組織として本年度設置いたしまして、第1回は記載のとおり開催いたしました。

(2)の環境審議会委員と区職員で構成いたします、改定専門委員会の部会でございます。これは2つの部会、地球温暖化対策検討部会と環境に配慮したまちづくり検討部会を設置いたしまして、計画素案のもととなります中間まとめ(案)について、集中審議を行ったところでございます。

おめくりいただきまして、2ページ目の3、施策体系の整理と新たな視点の追加でございます。

今回は、現行計画の中間見直しということで、目指すべき環境像、それから、施策体系の6つの柱、これにつきましては、現行計画を引き継いでおります。ただし、その目標達成のために、主に以下の視点を新たに追加いたしました。

まず、(1)としまして、SDGsを反映させました。SDGsは、経済・社会・環境、これをめぐる広範な課題に統合的に取り組むための世界目標であるということから、本計画におきましても柱ごとに関連するSDGsの目標を記載したところでございます。

(2)といたしまして、前期期間の取組や現況に対する分析や評価を行った結果を、課題として基本施策ごとに追加をいたしました。

また、(3)といたしまして、具体的な取組の見直しを行いまして、区が実施する具体的な取組につきまして、現在改定中の江東区長期計画、それから関連する個別計画の内容、それから国内外の動向等を反映いたしまして、後期期間の取組として記載したものでございます。

(4)として、区民・事業者に期待される行動を追加いたしました。環境基本計画の目標を達成するためには、区民の皆さん、それから事業者の皆さんが自らの生活や事業活動を通じて環境への配慮を進めることが必要不可欠であるということから、その具体的な行動を、区民・事業者に期待される行動として、基本施策ごとに新たに追加したものでございます。

次に、(5)でございますが、重点事業を見直しました。区民の皆さん、事業者の方が一体となって進めることが特に有効である事業として設定している重点事業、これにつきましては、新長期計画を踏まえまして見直しをし、基本施策ごとに掲載したものでございます。

また、同じように、(6)として、管理指標も見直しを行ってございます。新長期計画に合わせた計画の後期目標値の見直しや修正を行いました。なお、目標値が調整中となっている項目がありますが、それは新長期計画との調整がとれ次第、順次記載する予定でございます。

また、(7)として、各柱の最初に施策の要約、それからSDGsのロゴマークを追加するなど、わかりやすい計画書となるよう工夫をしているところでございます。

3 ページ目の (8)。(8) 欄の変更点は記載のとおりとなりますが、新たに追加する特徴的な部分のみご説明させていただきます。

まず、計画の柱の1でございます。現行計画では、エネルギーの消費量の削減を目標値としておりましたが、既に2020年度の目標値を達成している状況になってございます。計画後期は、温暖化の原因となる温室効果ガスの大半を占めます、二酸化炭素の排出量の削減を目標値として、都の部門別目標を踏まえて設定し直したところでございます。ここが一番大きな変更点になります。

計画目標といたしましては、2024年度に2013年度比で24.3%の削減、中期目標といたしまして、2030年度に2013年度比で37.6%の削減、また、区の長期的な視点としては、脱炭素社会に向けての取組を推進していくということを記載しております。

次に、計画の柱3では、現在改定中の江東区みどりの基本計画などを踏まえまして見直すとともに、生物多様性の記載を刷新いたしました。

おめくりいただきまして、4 ページ、計画の柱4でございますが、こちらでは、地域冷暖房システムの区域を掲載し、エネルギーの面的利用を紹介することといたしました。

資料4 ページ、一番下、(9) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシーの継承でございますが、ここでは、競技会場における木材利用、それから花と緑のおもてなしガーデニング、それと江東サポーターズ、それから江東区のレガシーとなる競技会場を掲載してございます。

最後に、今後の予定ですが、用紙になっている資料1-2の計画素案、これは、本日の審議を経まして、10日8日開催の区民環境委員会に報告の上、11月1日号の江東区報に掲載いたしまして、パブリックコメントとして区民の皆様に広く周知をして、意見を募集いたします。次の12月の環境審議会におきまして、その意見を反映した計画素案の修正を審議いたします。その上で、2月の本審議会にて、区長宛てに答申を行います。その答申を行った後、区議会区民環境委員会に報告する予定でございます。

長くなりましたが、説明は以上になります。

**芦谷委員** ただいまのご説明について、ご意見、ご質問がございますか。ございませんでしょうか。

それでは、審議の1は了承いたしたいと思います。

---

### ◎報告1 江東区環境基本計画の平成30年度進捗状況について

**芦谷委員** それでは、続きまして、報告の1、江東区環境基本計画の平成30年度進捗状況について、担当課から報告をお願いいたします。

**温暖化対策課長** それでは、江東区環境基本計画の平成30年度進捗状況につきまして、ご説明いたします。

恐れ入りますが、資料の2をご覧ください。

1の概要でございますが、江東区環境基本計画の進捗管理は、46の管理指標の実績数

値によりまして、環境に関する施策を客観的に評価することで実施しております。また、あわせて計画目標を実現・達成するために、特に重点的に取り組むとした25の重点事業の評価も行っております。

2の平成30年度実績が管理指標の進捗状況となります。46の管理指標のうち、30年度には14の指標が目標を達成しまして、17の事業が取組向上となりました。そのほか未到達が6指標となっております。目標を達成した指標と未到達の指標につきましては、表に記載のとおりでございます。

2ページ、3ページに全指標の進捗状況を一覧でお示ししております。黄色で表示した指標が、江東区域のエネルギー消費量ほか目標達成の指標、青色が江東区役所のCO<sub>2</sub>排出量が未到達の指標となります。

主な指標について説明いたします。

まず、指標12の区民1人当たりの1日の資源・ごみ量でございます。データ集計上、1年遅れの数値のため、今回は平成29年度の資源・ごみ量となっておりますが、前年度より2.1%程度減少してございます。これは、資源とごみの正しい分別について、継続的な啓発を実施している成果だと考えております。

一方、基準年と比較しまして、実績が未到達であった事業では、まず、指標8、江東区役所のCO<sub>2</sub>排出量についてです。業務用車両の買い換えによる燃費の向上や走行ルートの見直し、こういったところで効率化を図りまして、ガソリンの使用量の削減や街路灯のLED改修、ここら辺が進んだことによる消費電力の削減に加えまして、電力会社のCO<sub>2</sub>排出係数が下がったことに伴いまして、前年度よりも改善は見られますが、しかしながら、依然基準値を大きく上回るCO<sub>2</sub>排出量であるため、事業活動の実態や施設の運営なども踏まえまして、実現可能な目標設定の検討が必要であると考えております。

今後もエアコンの適正な温度設定、施設や設備の改修時には省エネタイプの機器に更新するなど、全庁的な省エネ活動を推進いたしまして、CO<sub>2</sub>排出量の削減に引き続き努めてまいります。

次に、指標の9、緑被率です。南部地域の大規模開発に伴う緑被地面積の減少などによりまして、現在、一時的に区全体で緑被地面積及び緑被率が減少しております。しかしながら、有明周辺等における低・未利用地での大規模な開発に伴う緑化指導を行っておりまして、これによりまして植栽された緑が今後成長していく、それとともに東京2020オリンピック・パラリンピック競技施設に対しまして、確実な緑の量が確保されるように緑化指導を行っているため、今後緑被率は改善するものと考えてございます。

次に、指標の18、区民1人当たりの公園面積についてです。本区では、江東区立都市公園条例の区民1人当たりの公園面積10平米を目標値としております。今年度において未到達ではあるものの都市計画公園の新規整備、民間開発や区画整理事業による譲与の新規公園など、平成26年度からの4年間で公園面積は18.6ヘクタール増加しております。しかしながら、本区の特徴であります人口増が区民1人当たりの公園面積へ多大に影響しております。このため、後期の環境基本計画では、公園総面積を指標といたしまして、

1人当たりの公園面積は併記という形に変更したいと考えております。

お手数ですが、1ページにお戻りください。

3の重点事業ですが、全25事業の中で、管理指標との重複及び目標値のない事業を除いた6事業につきまして評価を実施いたしまして、区立公園の改修が目標を達成しており、残りの5事業も段階的に進展しております。

4ページをご覧ください。重点事業からも主なものを説明いたします。

まず、指標の7、生ごみ減量推進事業です。これは、燃やすごみの約4割を占める生ごみを、区民が各家庭で減量に取り組めるよう、区が資器材などを提供してございます。平成30年度は97世帯の方に取り組んでいただきまして、18トンの生ごみを減量することができました。今後も生ごみ減量を推進してまいりたいと考えてございます。

最後に、指標の8、古着・古布の回収です。区では、区民から回収した古着・古布を事業者へ引き渡し、国内外で再利用する事業を平成23年度から開始し、区施設等での巡回回収とともに、平成26年度からは清掃事務所での常設回収も行っております。回収量は、平成27年の96トンピークに減少傾向にありまして、平成30年は89トンでございました。これは、区民の発生抑制であるリデュースや再使用であるリユースの取組が進んでいることによるものと評価しております。

なお、管理指標の直近3年間の実績推移につきましては、5ページ以降に参考として記載しておりますので、後ほどご参照ください。

環境基本計画の進捗が、より詳しく掲載されております環境白書につきましては、皆様の机の上に最終校正版を置かせていただきました。この中では、昨年ご意見をいただきました、未達成の管理指標の分析内容を中心に、管理指標の達成状況が一目でわかるよう一覧にしたものを新たに加えております。完成次第、皆様のお手元に正式な冊子は送らせていただきます。

長くなりましたが、私からの説明は以上です。

只今、柳会長がお見えになりましたので、よろしく願いいたします。

**柳会長** はい、ありがとうございました。到着が遅れ、誠に申しわけありません。

それでは、ただいまの報告について何かご意見、ご質問等はございますか。市川委員、どうぞ。

**市川委員** 江東区の環境白書、現在は原稿ですが、正式にはいつごろでき上がりますか。

**温暖化対策課長** 本日、皆様にご意見をいただきまして、特にご意見がなければすぐにも印刷にかかりますので、今月中にはお送りできると思います。

**市川委員** ありがとうございます。

**柳会長** 他にいかがでしょうか。

**温暖化対策課長** 例年、完成したものをこの席でお配りしていましたが、皆様のご意見を聞かないで印刷しては失礼ではないかと思い、今回は原稿の段階で出させていただきます。何かご意見があれば、それを修正の上、印刷に入ろうという姿勢でございますの

で、よろしくお願いいたします。

**柳会長** 他にいかがでしょうか。

---

### ◎報告2 第12回江東区環境フェアの実施結果について

**柳会長** それでは、特段ないようでしたら、続いて報告の2、第12回江東区環境フェアの実施結果について、担当課からの報告をお願いいたします。

**温暖化対策課長** それでは、第12回江東区環境フェアの実施結果についてご報告いたします。

恐れ入りますが、資料の3をご覧ください。

まず、1の開催日時ですが、記載のとおり、本年6月2日（日）に開催したところでございます。会場は、潮見にあります環境学習情報館及び清掃事務所の駐車場で行いました。当日の来場者は、1万5,016人で行いました。

3の参加団体でございますが、55団体54ブースの参加があり、昨年より1団体増となっております。

次に、4の今年度の特徴でございます。昨年度からテーマを設けてございまして、今年度のテーマは「水に親しむ」でございます。このテーマに合致する出展ブースを、水に親しむゾーンと設定しまして、東京湾で見られるクラゲを実際に展示するなど、来場者には水彩都市江東区の魅力を改めて実感していただけたものと考えてございます。

また、(2)の東日本大震災の被災地復興支援ということで、①から②に記載されております事業を展開いたしまして、復興支援の一助としたところでございます。

(3)では、2ページにあります、NPOハロハロによるアップサイクルやフェアトレード雑貨の展示、武蔵野大学による廃材を利用した工作体験、そして、ラジオの生中継など、8団体7件の新規出展がございました。

資料には、当日の写真も記載しておりますので、ご覧ください。

私からの説明は以上でございます。

**柳会長** はい、ありがとうございます。

今年6月の環境フェアの実施結果ということですが、何かご質問、ご意見ございますか。それでは、田中委員、どうぞ。

**田中委員** 田中でございます。ご報告ありがとうございます。

裏面に、今回、レインボータウンさんの中継カーが出たということで記載がございまして、今日のような台風などのときの防災時に活躍をされたかどうか、もしわかりましたら教えていただければと思います。

**温暖化対策課長** レインボータウンFMにつきましては、木場のイトーヨーカドーの中にスタジオを持っているコミュニティーラジオでございまして、防災時には、協定を結んでおりまして、放送するということですが、今回の台風につきましては、特に大災害ということではありませんので、特に区内でも倒木程度の被害で済んだと聞いておりますので、今回につきましては特に何もやっております。

**田中委員** ありがとうございます。

**柳会長** 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。芦谷委員、どうぞ。

**芦谷委員** これは、毎年継続して江東区様のほうでご尽力のところだと思いますけれども、来場者数は、前年と比べてどのような状況でしたでしょうか。

**温暖化対策課長** 昨年比で400人ほど減っております。同じように巡回バスも出していたため、何が原因なのか、たまたま周りの小学校の運動会とぶつかったというのが一つ考えてございますが、その他には、暑さであるとか、今後も引き続き啓発活動はしていきたいと思っているところでございますが、400人減ということです。

**芦谷委員** はい、ありがとうございました。

状況によって多少増減はあると承知しております。写真からは、とても楽しそうな様子だと拝察しております。

**柳会長** 星野委員、どうぞ。

**星野委員** 毎年、環境フェアをやっておりますけれども、私も今年はちょっと参加できなかったが、出席して思うのは、何か1つ目玉になるものがあると、やはり集まると思うか、みんな注目すると思うのです。

写真を見ると、結構なことが、何か1つ、マスコミなんかも取り上げるような、かつてペットボトルを潰す、油にするようなプラントみたいなものを出したりとかっていうのもあって、なかなかおもしろいなと思いました。いつも同じようなものではなくて、ちょっと目玉になるような画期的なものをバーンと出して、マスコミに取り上げられるようなアイデアがいっぱいあると思うのです。その辺、ちょっと考えてもらえればいいのかと思います。提案です。

**柳会長** はい、いかがでしょうか。

**温暖化対策課長** 内部でもそのような話がずっとあったもので、昨年度からテーマというのを作りまして、そのテーマに合ったもののブースをひとところにまとめて、今回でいうところの「水に親しむ」。それで、昨年なんかもそういう同じようなことをやって、テーマづくりをして少しずつ変化を持たせているのですが、おっしゃるとおり、全体から見るとあまりインパクトはないのかなとは思っていますので、いただいた意見を参考にしながら、何ができるか考えていきたいと思えます。ありがとうございました。

**柳会長** 私も7年ぐらいつとブースを出して、環境問題の取組ということで、広報活動をやっているのですが、できるだけ学生を連れて行って、展示をして、情報提供ということで、毎年10枚ぐらいのパネルをつくって、いろんな情報を提供しているところです。

お子さんからお年寄りまで幅広い層の人たちが来られていますので、それに見合うようなものを配布したり、集客を図るとするのは、なかなか難しいです。テーマを定めても、なかなかそのテーマに合致するという形になるかどうかということもありますので、その辺はまた事務局で創意工夫をやっていただいて、毎年のことですけれども、星野委員のご意見を参考にさせていただいて、活気のあるフェアにさせていただければと思います。

他にいかがでしょうか。じゃあ、芦谷委員、どうぞ。

**芦谷委員** 先ほどの会長のご提案、また委員のお話の中で、もらえるものがあると来場者数が増えるのではないかと伺いました。私の経験でも、昨年ですが、六本木ヒルズで行われた防災フェアへボランティアとして参加させていただき、防災食を配るお手伝いをさせていただいたことがございます。親子連れの方やお疲れの方など、防災食、喜んでいただいています。そういう意味でも会長のご意見、効果的ではないかと思えます。補足でございますけれども。

**温暖化対策課長** 六本木などとは違いまして、ちょっとへんぴなところにあるんですね、会場が潮見というところで。交通の便がそれ程良くないところだということで、その分、巡回バスなどを出して工夫はしているところです。物も抽選会ということで、配ってはおります。今いただいた意見を参考に、もっとより良いものにしていこうと思えます。ありがとうございました。

**柳会長** 他にいかがでしょうか。それでは、岡本委員、どうぞ。

**岡本委員** 岡本でございます。私は生ごみ減量事業のボランティアといたしまして、区民まつり、こどもまつりなどに啓発活動、ブースを持っておりますが、環境フェアに見える方というのは、大変環境に関心をお持ちの方が多いです。ですから、啓発活動をいたすにしても、それはどういうふうにしたらいいのかということ、親御さん、大人だけではなく、お連れになったお子さんにお話する機会がとて多くて。だから、人数的にも私たちのブースでは、やはり細かい先につながる、単なるお祭りでわいわい楽しむのではなくて、子供たちにそういう環境に対する関心を持っていただく、深めていただくというには、人数だけではなくて、その中の中身にもあると思えますので、あまり人数で一喜一憂しなくてもいいのではないかと思います。

それは、第1回目の環境フェアなんていうのは、ほんとうに送迎バスもございませんでしたから、来る人も少なく、そのころから比べると大変人数も増えておまして、それから、会場の広さなども考えましても、単なるお祭りではなくて、そういうお子さんにとっての教育の場というものであれば、あの程度の人数でもよろしいのではないかな。ただ単に人数を増やすのではなくて、目的の質を深めていただけたらよろしいのではないかと思います。

**柳会長** ありがとうございます。どうぞ。

**温暖化対策課長** ただいまいただいた意見を次の環境フェアの実行委員会のほうにも反映いたしまして、より良いものにしていきたいと思っております。

また、来年の環境フェアは、その直後にオリンピックが開かれるということで、その会場もすぐ近くにアクアティクスセンターがあるということで、何かその辺とつなげられたらいいなどは思っているところでございますが、どうつながるかほうまくいかないこともあるかと思えます。今この場でいただいた意見は参考にさせていただこうと思えます。ありがとうございました。

**柳会長** はい、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

### ◎報告3 東京2020大会のメダル製作に向けた小型家電の回収結果について

**柳会長** それでは、続きまして報告の3、東京2020大会のメダル製作に向けた小型家電の回収結果について、担当のほうからご報告をお願いいたします。

**清掃リサイクル課長** 清掃リサイクル課長です。

資料4をご覧ください。東京2020大会の入賞メダル製作につきましては、使用済み小型家電に含まれる金属類を活用するとして「都市鉱山からつくる！ みんなのメダルプロジェクト」に本区としても参加をしております。これにつきましては、平成29年の本審議会にもご報告をしたところでございます。このプロジェクトにつきましては、入賞メダル約5,000個の製作に必要な予定数量に達したということをもちまして、平成30年度末をもって終了となっております。今回、この回収結果についてご報告をさせていただきます。

回収期間、回収品目については、1と2に記載のとおりでございますけれども、3の本区における当該プロジェクトへの引き渡し実績でございますが、表として記載をしております。29年度は、年間合計で約206トン余、平成30年度につきましては、421トン余で、回収全体では、628トン余を引き渡したところでございます。

恐れ入ります、裏面をご覧ください。4の当該プロジェクト全体の回収量でございますけれども、国内の参加自治体全体では、約7万8,985トンで、これ以外にNTTドコモでも、携帯電話ですけれども、回収分がございます。

5の最終的な確保金属量でございますけれども、金は約32キロ、銀については約3,500キロ、銅は2,200キロ、こちらが確保された量でございます。

6の当該プロジェクト参加自治体数でございますけれども、1,621自治体が参加をしており、これは全国の区市町村の9割以上となるものでございます。

7のその他でございますけれども、このメダルプロジェクトが終了した後におきましても、本区としましては、ごみ減量と資源リサイクルの観点から、使用済み小型家電回収につきましては継続して実施をしているところでございます。

報告は以上です。

**柳会長** はい、ありがとうございました。

何かご意見、ご質問はございますか。芦谷委員、どうぞ。

**芦谷委員** これは、以前から行われていたプロジェクトだとは思いますが、1点、ここで回収される小型家電というのは、どの程度のサイズまでが対象でしょうか。

**清掃リサイクル課長** 小型家電といいますのは、資料4の1ページ目をご覧くださいとわかんと思いますが、区内の公共施設等に小型家電の回収ボックス、この本庁舎にも設置しておりますけれども、携帯電話であるとか、デジタルカメラ、ポータブルのビデオカメラ、携帯音楽プレーヤーなど、ここに記載のとおりでございます。

ですので、デスクトップのパソコンであるとか、ノートパソコン、こちらのほうの大き

さは、小型家電という扱いにはしてごさいませんので。要は、回収ボックスの口に入るサイズということになります。

これ以外にも、3に記載してごさいますけれども、表にありますとおり、粗大ごみからのピックアップ回収、こちらにつきましては、もう少し比較的大きいもの、こちらのほうの粗大ごみの中から、江東区の清掃事務所のほうで一旦降ろしまして、そこから使える金属類を引き抜いて、このメダルプロジェクトに流しているというところもごさいますので、こちらについてはもう少し大きい家電のほうも入ってごさいます。

あと、携帯電話専用回収ボックスというのは、もうまさに携帯電話だけが入る箱を用意しまして、各スポーツセンター等に置いて回収をしてごさいました。

説明は以上となります。

**柳会長** よろしいでしょうか。星野委員、どうぞ。

**星野委員** まず、平成29年と平成30年度を比べると、約倍以上になっていますが、この辺はどういう理由なのか。

それから、小型家電の回収はすごくいいことだと思いますが、私が思うに、あんまり区民の間に、じゃあどこへ持っていったらいいのかとか、今話にも出ていましたけれども、どの程度のもを持っていったらいいのかという周知がちょっと足りないのかなという感じもします。もうちょっと、広めることをしたほうが良いかなと思うのですが。これは、まだまだ随分伸びる回収になるのではないかなという感じがするのですが、いかがでしょう。

**清掃リサイクル課長** 29年度、30年度の比較で数量が伸びているとのご質問でごさいますけれども、まず、最初、このメダルプロジェクトがスタートしたというところで、やはり29年度はスタート直後というので、なかなか周知がされていなかったのかなというところもごさいます。

ですので、小型家電、ここでは都市鉱山という言い方をしていますけれども、ごみとして捨てられている中に、金属類、貴重な有価金属が眠っていますよという意味での都市鉱山というネーミングで、それを今回、オリンピックを東京で開催するというので、この中からメダル用の金・銀・銅を抽出するという周知が、やはりマスコミ等も含めて周知がなかなかまだ行き届いていなかったというところもあったため、30年度はその辺がある程度浸透したというところで、このような倍増をしたと思っごさいます。

また、委員ご指摘のとおり、周知の問題につきましては、江東区は、小型家電の回収については、このメダルプロジェクト以前からやってごさいましたけれども、区報あるいはホームページ、あとはイベント等で周知用のチラシであるとか、リーフレットの配布は、この後またさらに考えていきたいと思っごさいます。

なかなか周知が行き届かないというところは、我々の力不足かなと思っごさいますので、いただいたご指摘を真摯に受けとめまして今後を考えていきたいと、このように考えてごさいます。

以上です。

**柳会長** 他にいかがでしょうか。

粗大ごみからのピックアップの回収が29年10月からと、時期的に半年ずれていますが、それは何か理由があったのでしょうか。

**清掃リサイクル課長** メダルプロジェクトに流したのがその日付なものですから、この粗大ごみからの有価金属を引き抜くというピックアップ回収は、従前からやってございました。

それで、このメダルプロジェクトは、組織委員会のほうで進めてございますけれども、その辺の手続がなかなか進まなかったというところもございます。また、有価金属については、江東区としては、資源回収の立場から、従前からこの金・銀・銅以外でも、粗大ごみのピックアップの回収ということで、鉄であるとか、アルミであるとか、あとはステンレスその他の有価金属も引き抜いて、このメダルプロジェクトとは別のルートで資源化をしているというところがございます。

以上です。

**柳会長** それから、ちょっと個人的な興味ですけれども、金メダルというのは、銀メダルに金を張る、その比率はどのくらいでしょうか。

**清掃リサイクル課長** メダル製作の構造上のものについては、私のほうは数値を把握してございませんけれども、確かに途中で、銅と金はある程度目途がついたと。やはり銀が足りないというお話がありました。金メダルは銀の素材に金メッキをするということなので、まさに純金であれば相当な価値ですけれども、金メッキの配合率だとか、その辺は存じ上げてございません。申しわけございません。

**柳会長** あんまり比率を公にしてしまうと、金メダルの有難みが下がるということもあるのでしょうか。

**環境清掃部長** 補足ですけれども、このメダルプロジェクトは国民運動としてやりたいということで、自治体は当然専用ボックスですけれども、大手自動車メーカー、家電量販店、郵便局、商工会、あと小中学校で実施し、メダル5,000個の原料になるということで試算しております。それに対して銀が3,500個、銅が2,200個に使用することが広報されているところでございます。

また、今回で終了ではなくて、アフターメダルということで、引き続きプロジェクトを展開すると国は言っておりますので、区も協力できることは協力していきます。

**柳会長** ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。芦谷委員、どうぞ。

**芦谷委員** 関連でございますが、小型家電や粗大ごみから貴重な金属を取り出してリサイクルするというのは、環境からみて、とても素晴らしいことだと思います。また、名刺などでは再生紙使用といったことがありますし、環境にとってもいい話だと思うのですが、もしわかれば、費用というのはどれくらいかかるものなのでしょうか。仮に再生紙ですと普通の紙より高くついていると思いますが、貴金属を取り出す場合はいかがでしょうか。

**清掃リサイクル課長** 今回のメダルプロジェクトですけれども、組織委員会のほうで、

認定した事業者のほうに引き渡してございます。こちらのほうでは、幾つかの会社のほうに出してございますけれども、我々としては、出す分にはお金をかけていません。ですので、かかわる認定事業者のほうで、受け入れた量から金・銀・銅を抽出する費用については承知をしてございません。

ただ、認定事業者のほうも、もちろん金・銀・銅だけではなくて、ほかの家電一式行っていますので、当然鉄だとかアルミだとかそこら辺も売り払い収入で入っているのだろうなというところもございます。その辺の収入は、区のほうには入ってきてございませんので、我々としては、物を集めて出すというところで、あとは認定事業者のほうがどのような形でやっているかというのは、事業者によって若干違う可能性もございますけれども、そのかかる費用については、申しわけございませんが存じ上げていません。

**芦谷委員** 行政側には、コストの負担がないと考えてよろしいのでしょうか。

**清掃リサイクル課長** 回収に使う労力、自動車の経費であるとか人件費、そういうところはもちろんかかっていますけれども、メダルに直結する部分での費用負担というのはないということです。

**芦谷委員** わかりました。

**柳会長** 他にいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして本日の議事は全て終了いたしました。

続きまして、事務局から次回の日程についてお願いいたします。

**温暖化対策課長** それでは、次回の日程でございます。令和元年度の第3回環境審議会につきましては、本年12月16日（月）の午前10時から、場所は本日と同じ場所でございますが、江東区役所7階71、72会議室ということで、よろしくをお願いいたします。後日、文書にてご案内をさせていただきます。

以上です。

**柳会長** はい、ありがとうございます。

それでは、以上もちまして本日の審議会を閉会いたします。どうもありがとうございました。

午前10時45分閉会